

## ALPS処理水の海洋放出に関するIAEA規制レビュー会合（第2回）の概要

令和5年1月25日  
原子力規制庁

## 1. 趣旨

本議題は、令和3年7月の日本政府と国際原子力機関（IAEA）との間での取決め<sup>1</sup>に基づき行うこととされた、ALPS処理水の海洋放出に関するIAEA規制レビューの第2回会合が実施されたことから、その概要について報告するものである。

## 2. IAEA規制レビュー第2回会合の概要

(1) 実施期間 令和5年1月16日（月）～1月20日（金）

(2) 場所 原子力規制委員会13階会議室

(3) 参加者

IAEAレビューチーム

グスタボ・カルーソ調整官 他IAEA職員5名

各国からの専門家11名

原子力規制委員会

山中委員長、伴委員、森下長官官房審議官 他22名

環境省

2名

(4) 会合の内容

ALPS処理水の海洋放出に関する実施計画の変更認可申請に係る審査・確認及び実施計画検査における進捗と第1回会合の際にIAEAから推奨された事項に対する回答について原子力規制委員会より説明し、IAEA安全基準に照らした確認が行われるとともに意見交換を行った。

主な議題は、第1回会合に引き続き以下のとおり。

- ・政府の責任と役割
- ・放出の規制に関する主な考え方
- ・規制のプロセス
- ・放射線環境影響評価
- ・ソースモニタリング及び環境モニタリング

<sup>1</sup> 多核種除去設備等処理水の取扱いに係る包括的な協力の枠組みに関する付託事項  
“IAEA Assistance to Japan on Reviews of Safety Aspects of Handling ALPS-Treated Water at TEPCO’s Fukushima Daiichi Nuclear Power Station (Terms of Reference 8 July 2021)”

・外部とのコミュニケーション

また、1月17日(火)には、IAEAレビューチームの5名が東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所を訪問し、原子力規制庁が実施した使用前検査に立ち会うとともに、ALPS処理水海洋放出関連設備の設置状況を視察した。

3. 今後の予定

IAEAレビューチームから、今回の会合の議論で得られた所見をもとに、3か月程度で報告書にまとめるとの方針が示された。